

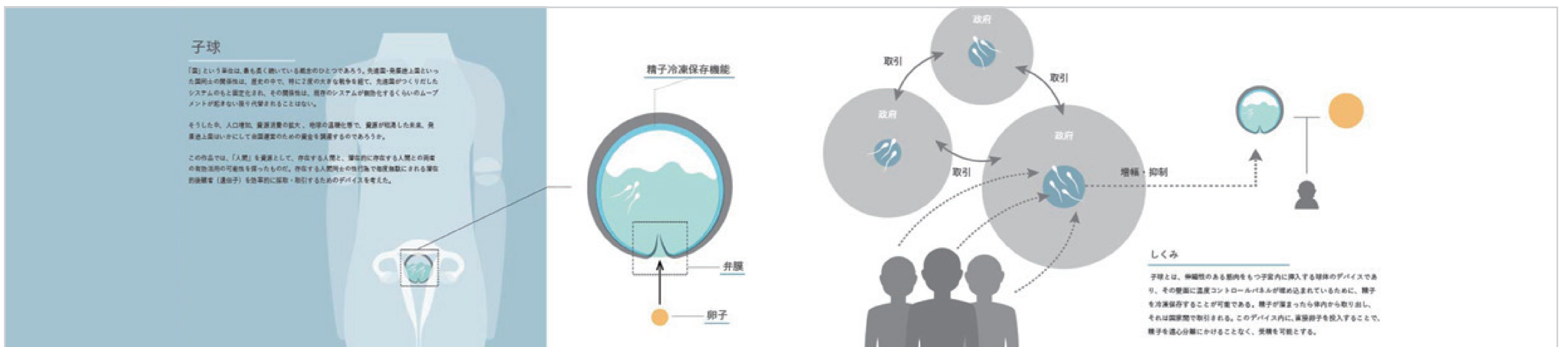
コンセプト・
デザイン部門
学生賞



丸山 紗季 様、児玉 隆一郎 様、寺澤 祐那 様、川島 穂高 様 途上国の未来の生計の建て方

現在、富を豊富に抱える先進国と、富を持たない発展途上国といった図式が存在する。先進国に資源が入ってくるように組み立てられたこの関係性は、未来においても容易に壊れるものではない。発展途上国は現在、国の歳入を自らがもつ天然資源や二酸化炭素の排出権等に頼っている。しかし、天然資源が枯渇し、地球の温暖化もピークを迎えたとき、発展途上国はいかにして国家財源を確保すれば良いのだろうか。

この作品は、既存の価値ある資源が全て通用しなくなった未来を想定し、最後の手段としての「遺伝子」譲渡による歳入確保の可能性を探ったものだ。より自然で効率的に、精子・卵子の国家間取引を可能とするシステムを提案する。



受賞者プロフィール

慶應法学部卒、UCL 都市デザイン修了。ひとの五感に訴える表現に可能性を感じ、現在はものづくりに携わっている。今回は、面白そうなメンバーで集合。ほとんどが初対面で、専門は法律からロボット製作までバラバラ。今回の作品を通じ、環境問題や人工受精等について改めて考えるきっかけとなることを願っている。

